

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

認知症ゼロ社会の実現へ向けた未病検診サービス

4. 研究開発代表者名

村瀬 研也(大阪大学 国際医工情報センター 特任教授)

5. 評価結果

認知症ゼロ社会を目指し、認知症の早期発見技術および治療技術の開発を目指す本研究開発は、我が国の将来課題を見据えた、社会・経済にハイインパクトを与える重要な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、磁気ナノ微粒子の脳内移行をマウスで実現し、また脳内の磁気ナノ微粒子のイメージングに成功するなど、着実な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、アミロイドβの検出と認知症の早期診断との因果関係を示す研究を始め、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上